

ウィンブルドン 2017、男子シングルスでフェデラー選手が 8 回目の優勝

ウィンブルドン 2017 で、スイスのロジャー・フェデラー選手(35 歳) が男子シングルス決勝でクロアチアのマリン・チリッチ選手を(28 歳) を 6-3、6-1、6-4 のストレートで破り、第一回戦から決勝戦まで 1 セットも落とさずに、5 年ぶりに*8 回目の優勝をかざりました。今年のフェデラー選手は、1 月にオーストラリアオープンに優勝し、その後約 6 か月間休養して、今回のウィンブルドンで優勝できたのは、スポーツ選手にとって休息の大事さを体現したことになります。

*これまでにシングルスでの優勝回数が一番多いのは、女子のチェコと米国の二重国籍を持つ、マリナ・ナブラチロワ選手で、9 回の記録を持っています。



ウィンブルドン 2017 男子シングルス覇者フェデラー選手 (BBC TV より筆者撮影)

フェデラー選手は、1889 年ウィリアム・レンショーと 2000 年ピート・サンプラスのそれぞれが持つ優勝回数 7 回を凌駕した大記録になりました。そして、オールイングランドクラブで勝った最年長の選手になりました。更にすごいのは、決勝戦に 11 回も勝ち上がり、優勝 8 回なので決勝進出後の優勝勝率は 73%と驚異的な強さを発揮しています。また彼は、この勝利でグランドスラム (四大大会制覇) のタイトルを 19 に伸ばしました。

女子シングルス決勝は、ウィンブルドンで 5 回も優勝経験のある米国のベテラン、ビーナス・ウィリアム選手とスペインのガルビネ・ムグルッサ選手が戦い、ムグルッサ選手が初優勝しました。

日本からは、期待された錦織圭選手、杉田祐一選手や大阪なおみ選手の活躍がありましたが、いずれも前半戦で敗退、残念でした。



女子車いすダブルスの覇者、上地選手とイギリスのワイリー選手（BBC TV より筆者撮影）

しかし、忘れてはならない女子車いすダブルス決勝で、なんと上地結衣選手が英国のジョーダン・ワイリー選手とペアを組み、4連覇と言う快挙を成し遂げました。BBCの中継を見ていて、本当に嬉しかったです。上地選手、優勝おめでとう！（了）